

南
砺

しん
ぶん 赤旗

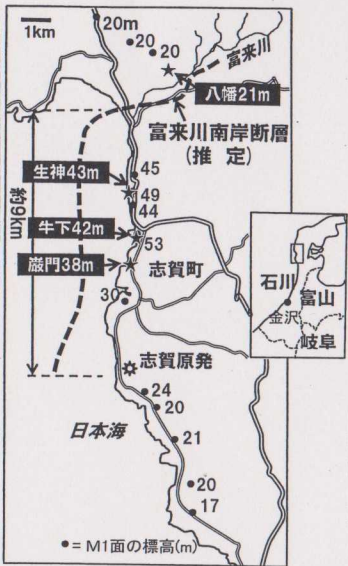
読 者
ニユー ス

2013年7月 7日 NO. 131

日本共産党南砺市委員会
発行所 南砺市城端1109-21
TEL 62-3203 FAX62-3321
日本共産党南砺市委員会の活動を紹介します



志賀原発と富来川南岸断層



6月議会 一般質問

志賀原発の活断層 介護保険事業で質問

6月定例会市議会は、6月7日から24日までの会期で開かれました。一般質問は13日と14日に行われ、中島議員は14日に行いました。その要旨を紹介します。

志賀原発の四方と直下に活断層 再稼働に反対し、廃炉を働きかけよ！

《中島議員》

「新安全基準」は、原発直下に活断層が走っていても「露頭」がなければ設置を認める。政府の地震調査研究推進本部でも、活断層の目安を約40万年前としているのに、原発の規制だけが12万年から13万年以降に活動したものだけを活断層と定義している。再稼働に反対し、「新安全基準」に対す

る見解を問う。

《田中市長》

原子力発電所の再稼働については、現在、法律上の権限と責任を有する国において、規制基準に基づき審査、判断され、適切に対処されるべきである。

《中島議員》

志賀原発1号機直下の「S-1断層」が、現地調査で活断層と確認されれば、原発の運転はできず廃炉になる。北電に対し、これまでのデータや資料を全面的に公開するよう求める。

富来川南岸断層は、海域に連続する可能性が指摘されている。また田知瀧断層帯も、北電は短く見ている。志賀原発は、四方と直下に活断層がある。活断層の問題だけであら、原発は、事故が起これ

国が再稼働の可否を判断する場合、国民に対し十分な説明責任を果たしていただきたい。

介護保険 生活援助時間短縮の見直しと報酬の引き上げを！

《中島議員》

「改正」介護保険法から1年余りが経過した。介護保険の理念に反する生活援助の時間短縮(60分→45分)の見直しが必要と考えられるがどうか。

《田中市長》

厚生労働省の実態調査(H23年度)で、8割以上のサービス提供時間が45分未満であり、利用者のニーズに対応して見直したもので、生活援助の時間短縮の見直しが必要だと考えている。

《中島議員》

介護報酬の改定は、総枠で1.2%の引き上げだが、介護職員処遇改善交付金が廃止され、報酬に換算すれば2%強で、差し引き0.8%を引く引き下げだ。抜本的な報酬の見直しを求めよ。

《田中市長》

全体でプラス1.2%の改定率となった背景には、過去3年間の物価下落分等も反映しており、抜本的な報酬の見直しの必要があると判断している。



2013年7月21日 NO. 132

日本共産党南砺市委員会
発行所 南砺市城端1109-21
TEL 62-3203 FAX62-3321
日本共産党南砺市委員会の活動を紹介します

総務文教常任委員会 6月19日 JR城端線 枕木・枯れ草焼くトラブル 改善措置・原因究明に万全を！

市議会の常任委員会は、本会議で付託された議案を審議します。審議後、常任委員会が担当する事項について自由に取上げ、市議会の考えを聞くことができます。6月19日の総務文教常任委員会で、中島満議員が取り上げた「JR城端線のトラブル」について紹介します。

市長の所信表明(6月7日)で、JR城端線と氷見線での枕木や周辺の枯れ草が燃えるトラブルが21件も発生したと報告があった。JR城端線・氷見線には、20の駅があり、事故防止対策として除草作業と枕木に「防火塗料の塗布」が行われている。「除草作業」は、現在20全ての駅で実施され、

「防火塗料の塗布」は、6月1日時点で、6駅で一部の駅で実施され、6月28日まで「終了予定」と聞いていた。

5月13日の総務文教常任委員会協議会で、宮本消防署長から報告があった。その後、5月14日付19日付、6月4日付の新聞でも大きく報道された。新聞報道では、

「ブレーキをかけた際に作動する部品や車両に欠損が生じ、摩擦熱を帯びた鉄粉が多く飛び散ったことが原因か」とも指摘している。全国的にも異例の事態で、なぜ城端線と氷見線に集中して、短期間に多発しているのかわかっていない。

共産党の県委員会と西地区委員会では、5月27日に国交省の富山運輸支局に、6月6日に国土交通大臣に「原因究明と再発防止を求める要請書」を提出している。そのなかでも、きめ細かな点検作業の実施と修理・更新に万全を期す指導を要望している。

また、この枕木からの出火だけでなく、1月31日に、遮断機が下

りないまま吉江中踏切で7本の列車が通過し、2月1日に、戸出と東野尻でも遮断機が下りていなかった。これらはまさに、住民の安全・命に係わる問題であり、事故だ。

ハインリッヒの法則というのがある。「事故で一人が死すれば、同様な事故で負傷した人が約30人あり、さらに事故に会いそうになった人が約300人いる」というものだ。

遮断機下りず列車通過

JR城端線 福光の踏切 31日始発から7本

「遮断機が下りないまま列車が通過した」という異例の事態が、6月31日始発から7本の列車で発生した。JR城端線福光踏切で、遮断機が下りず列車が通過した。原因は、遮断機が下りないまま列車が通過した。原因は、遮断機が下りないまま列車が通過した。

異例の多発なぜ?

JR城端線 枕木・枯れ草の出火 18日 鉄片の調査依頼

砺波駅で枕木から煙

